

医療情報学

論文

A 欧文

A-a

1. Muro T, Ando F, Suehiro M, Nakagawa H, Okuda C, Matsumoto T, Izumikawa K, Honda M, Sasaki H: Utility of Blood Culture in Patients with Community-Acquired Pneumonia: A Propensity Score-Matched Analysis Based on a Japanese National Health Insurance Database. *Biological and Pharmaceutical Bulletin* 46(2): 237-244, 2023. doi: 10.1248/bpb.b22-00609.
2. Kinoshita T, Espino F, Bunagan R, Lim D, Daga C, Parungao S, Balderian A, Micu K, Laborera R, Basilio R, Inobaya M, Baquilod M, Dy M, Chiba H, Matsumoto T, Nakayama T, Kita K, Hirayama K.: First malaria in pregnancy followed in Philippine real-world setting: proof-of-concept of probabilistic record linkage between disease surveillance and hospital administrative data. *Tropical medicine and health* 52(1): 17, 2023. doi: 10.1186/s41182-024-00583-7.

B 邦文

B-a

1. 松本武浩, 木下琢也, 阪本純也, 臼井哲也, 岩元泉, 藤沢章令, 辻 明美, 高石恭子, 山下利佳, 野上朋幸, 伊藤眞由美, 室田浩之: 松本 武浩, 木下 琢也, 阪本 純一, 井上 公介, 辻 藍, 岩崎 恵, 辻 明美, 堀田 ほづみ, 出口 砂緒利, 伊藤 眞由美. *日本医療マネジメント学会雑誌* (23): 1881-2503, 2023.
2. 松本武浩, 木下琢也, 阪本純一, 井上公介, 辻 藍, 岩崎 恵, 辻 明美, 堀 ほづみ, 出 砂緒利, 伊藤眞由美: 病院経営とクリニカルパス(診療報酬対策) クリニカルパスの経営改善効果 原価計算を利用した詳細分析. *日本クリニカルパス学会誌* 25(2): 65-69, 2023.

B-c

1. 松本武浩: 医師の働き方改革と地域医療構想. *㈱ライフ・サイエンス*: 27-32, 2023.
2. 松本武浩: 医療ICTと医師事務作業補助者支援による未読「ゼロ」への取り組み. *㈱エム・イー振興協会 月刊新医療編集部* 50(4): 82-83, 2023.
3. 大伴哲治, 松本武浩, 辻 明美, 伊藤眞由美: インクジェットプリンター採用による業務改善効果 ～コストを見据えて生産性向上に寄与する～. *医事業務* 30(647): 22-23, 2023.

B-e-2

1. 阪本純一, 木下琢也, 松屋合欽, 田浦直太, 野間太一朗, 松本武浩: *日本クリニカルパス学会誌*(2187-6592)25巻2号 Page65-69. *日本医療情報学会春季学術大会プログラム・抄録集* 27回: 161-162, 2023.
2. 橋本淳子, 田浦直太, 宮明寿光, 三馬聡, 松本武浩, 中尾一彦: 当院におけるフィブリノーゲン製剤等の投与に関する診療録調査の現状についての報告. *肝臓* 64(Suppl.3): A815, 2023.
3. 臼井哲也, 加勢田富士子, 木村由美子, 長谷川寛雄, 松本武浩, 柳原克紀: 地域医療連携ネットワークにおける臨床検査データの精度管理に向けた取り組み. *医療検査と自動化* 48(4): 399, 2023.
4. 山下利佳, 臼井哲也, 阿比留教生, 鎌田昭江, 森田衣美, 峯 佑理子, 野上朋幸, 鶴飼 孝, 松本武浩: ICTを利用した糖尿病医科歯科連携パスの構築. *医療情報学連合大会論文集* 43: 1132-1143, 2023.
5. 松本武浩, 木下琢也, 阪本純也, 臼井哲也, 大伴哲治, 一橋了介, 辻 明美, 高石恭子, 山下利佳, 野上朋幸, 伊藤眞由美: 測定結果自動取得バイタルデバイス貸与利用の臨床効果評価. *医療情報学連合大会論文集* 43: 1037-1039, 2023.
6. 伊藤眞由美, 牛嶋拓也, 一橋了介, 橋本淳子, 秋山久美子, 永井千佳子, 小森朋子, 高石恭子, 辻 明美, 野上朋幸, 山下利佳, 松本武浩: 重複記録減少に向けた「診療計画・経過サマリ」導入と運用評価 医師の働き方改革下での医療の質・安全への貢献. *医療情報学連合大会論文集* 43: 1034-1036, 2023.
7. 松本武浩, 木下琢也, 阪本純也, 臼井哲也, 岩元 泉, 藤沢章令, 辻 明美, 高石恭子, 山下利佳, 野上朋幸, 伊藤眞由美, 室田浩之: 長崎県の地連を利用した皮膚科難病レジストリ構築. *医療情報学連合大会論文集* 43: 657-660, 2023.
8. 辻 明美, 高石恭子, 松尾理香子, 西口真由美, 伊藤眞由美, 松本武浩: 電子カルテの看護記録タイトルの現状調査. *医療情報学連合大会論文集* 43: 501-503, 2023.

9. 松本武浩：医療DX時代の地連の位置づけと展望～サービス事業者・ネットワーク事業者視点からみた地連～地域連携ネットワークにおけるDXとは サービス構築・「あじさいネット」利用者の視点から. 医療情報学連合大会論文集 43: 302-304, 2023.
10. 橋詰淳哉, 松本武浩, 伊藤眞由美, 江副智美, 栗原慎太郎, 大山 要：電子カルテにおける剤型、規格、量等が異なる薬剤に対する適切な警告対応の取組み. 医療情報学連合大会論文集 43: 241-244, 2023.
11. 堀田ほづみ, 辻 明美, 高石恭子, 松本武浩：BOMを活用したパス分析 アウトカム未達成率差の原因. 日本クリニカルパス学会誌 25(3): 304, 2023.
12. 黒部昌也, 松本武浩, 前村浩二：パスは続くよ、どこまでも-院内多職種連携から院外多職種連携への展開- ネットワーク型地域連携パスによる急性心筋梗塞の二次予防の実現. 日本クリニカルパス学会誌 25(3): 177, 2023.
13. 草野優香, 田下真祐子, 高村愛子, 山口真美, 松本武浩：入院説明の評価と課題抽出のための調査 入院までの不安解消に関して. 日本医療マネジメント学会雑誌 24: 263, 2023.
14. 阪本純一, 松下舞子, 野間太一朗, 山口耕一, 木下琢也, 松本武浩：透析機能を有しない当院における急性血液浄化導入時の問題点と患者予後の検討. 日本臨床工学技士会誌 78: 313, 2023.

論文研究業績集計表

論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	A-e	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	B-e	合計	総計
2023	2	0	0	0	0	2	0	2	0	3	0	14	19	21

学会発表数一覧

	A-a	A-b シンポジウム	A-b 学会	合計	B-a	B-b シンポジウム	B-b 学会	合計	総計
2023	0	0	0	0	7	1	17	25	25

論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI 掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2023	0.095	2.000	0.000	0.000

Impact Factor値一覧

	Impact Factor	教員当たりのImpact Factor	論文当たりのImpact Factor
2023	0.000	0.000	0.000